

## 学校で行うコンサルテーションとは？

### 【研究を行った背景と目的】

特別支援教育のナショナルセンターとして、本研究所の教育相談部の達成すべき業務運営に関する中期目標として、「各都道府県等における教育相談機能の質的向上に対する支援」が挙げられています。この中期目標を具現化するために行うことは、それぞれの教育相談実施機関の自己解決能力の向上を推進することであり、その中で教育等環境全般に関する総合的なアセスメント方法の開発や教育相談に関するコンサルテーション手法を開発することです。

そこで、本研究は、学校コンサルテーションを進めていく上で重要な役割を果たす特別支援教育コーディネーター等が、学校等の支援を進める際の手法や課題を明らかにするとともに、具体的支援方法について提供することを目的としました。

### 【研究の経緯と成果】

各地で行われているコンサルテーションの実践を収集

学校コンサルテーションとは、学校コンサルテーションの進め方・コンサルトの配慮事項・コンサルテーションの評価・学校コンサルテーション実践上の課題等の整理

所内研究分担者会議  
研究協議会

研究の成果

#### <学校コンサルテーションの実施内容及び方法>

コンサルテーションの実施内容や方法は、各教育センターによって様々な形で実施されていました。学校コンサルテーションをはじめめる契機としては、  
特別支援学校と連携して実施している機関  
教育センターの事業をもとにはじめている機関  
保護者からの相談からはじめている機関 等がありました。

#### <特別支援学校における課題>

特別支援学校では、特別支援教育のセンター的機能を果たす活動として、地域の幼稚園、小・中学校、高等学校等へ関わっています。その関わり方については、各学校で様々な課題があることが分かりました。

#### <地域における教育相談を進める上での課題>

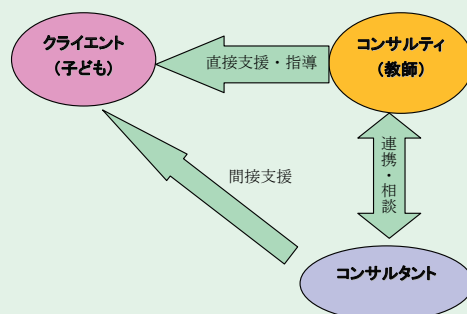
地域における教育相談を進める上では、「連携（機関間・保護者）」や「役割分担」等についての課題があることが明らかになりました。

#### <データベースに求められるもの>

研究所のデータベースを構築していく際に「事例紹介」「相談の進め方」「教材教具」「アセスメント」「支援方法」「機関情報」等の情報提供が求められていることが明らかになりました。

## 【コンサルテーションとは】

コンサルテーションとは、異なる専門性をもつ複数の者が、援助対象である問題状況について検討し、よりよい援助のあり方について話し合うプロセスです。自らの専門性に基づいて他の専門家による援助の対象への関わりを援助するものを「コンサルタント」、そして援助を受けるものを「コンサルティ」と呼んでいます。



## 【学校コンサルテーションとは】

学校コンサルテーションとは、学校の間で行われるコンサルテーションをいいます。コンサルティは子どもの担任教師や校長、教頭等教育実践や教育管理の専門家です。コンサルタントは教育・心理・医療・福祉等の専門家です。また、特別支援教育のセンター的機能を果たす特別支援学校の教員や特別支援教育コーディネーターになることもあります。

学校コンサルテーションの目的は、支援を必要とする子どもに関わる教師等の教育活動が、子どもの抱えている課題解決に向けて、より一層効果的に展開するよう支援していくことにあります。

コンサルタントはコンサルティと共同で課題解決を探り、必要な資源（知識・技能・それらを有する専門家）を準備出来るように調整する等の役割も担うことになります。

一般的に、コンサルテーションの進め方は、次に示す3つの段階に分けることができます。

「アセスメントの段階」→「対応の段階」→「評価の段階」

## 【学校を訪問する際の一般的配慮】

- ・対象児の保護者の了解があるかどうかを確認し、学校及び学区の様々な情報を集めておきます。
- ・学校長には、確認を含めて学校訪問の趣旨を伝えます。
- ・対象児の保護者の了解があるかを再確認します。
- ・授業参観は、授業ではなく子どもを見ます。
- ・ケース会議は、会議の流れを見通すことができ、主体的に参加しやすい工夫が必要です。
- ・判定、判断につながるような発言は誤解を受ける恐れがありますので注意する必要があります。
- ・特定の人の批判にならないように心がけます。
- ・支援の方策は、参加者が主体的に考えるように進めていきます。
- ・子どもの支援方策については、全校職員にも伝えるように勧めます。
- ・ケース会議の終了後は、担当者とケース会議を振り返ることは大切です。
- ・全てを「自分で何とかする」という頑張りすぎは禁物です。

## 【関連情報】

### 発刊したもの

- ・「学校コンサルテーションを進めるためのガイドブック  
－コンサルタント必携－」
- ・「学校コンサルテーション ケースブック  
－事例から学ぶ－」



## 【基とした研究について】

本リーフレットは、研究所で行った次の研究を基に作成しています。

- ・研究課題名（研究期間）  
地域の支援をすすめる教育相談の在り方に関する  
実際研究 －コンサルテーション手法及びアセ  
スメント方法を中心に－  
(平成18年度)
- ・研究代表者名／問い合わせ先  
後上 鐵夫 (gokami@nise.go.jp)

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (National Institute of Special Needs Education; NISE)  
〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1 TEL:046-839-6806 URL:<http://www.nise.go.jp/>